

新潟市との意見交換会（概要）

〈対外活動部会 新潟地域委員〉

日時	令和3年11月15日（月） 15:00～17:00
会場	ホテル グローバルビュー新潟
出席者	新潟県：柳田都市政策部長、鈴木土木部長、時田下水道部長、 渡辺財務部長、石川技術管理課長、阿部土木総務課長、 玉木道路計画課長、山口下水道計画課長、高山契約課長、 西脇東部地域土木事務所長、松島西部地域土木事務所長、 玉木東部地域下水道事務所長、古俣西部地域下水道事務所長 北陸支部：大平副支部長、渡邊運営委員長、青木総務部会長、 齊木新潟地域委員長、神田技術部会長、熊倉広報部会長、 折笠・田邊・岩澤・吉田・坂西新潟地域委員、佐々木事務局長

◆挨拶

○柳田都市政策部長

建設コンサルタンツ協会北陸支部の皆様には、日頃より、新潟市政の発展に多大なるご支援をいただいておりますことに、厚くお礼を申し上げます。また、万一の災害時に備えた災害時の応援業務に関する協定へのご協力など、多大なるご尽力をいただいておりますことに心より感謝を申し上げます。

昨年度からの新型コロナウイルスの拡大により、多くの方が働き方や暮らし方を見つめ直す契機となりました。インフラ分野においても、DXの推進などにより、公共工事を取り巻く環境に変化が起こりつつあります。本市では、建設コンサルタント業務においても、WEB会議システムなどを利用した会議などの取組みを始めたところです。更なる働き方改革と生産性の向上に向け、より一層受発注者協働による改革が必要であると考えております。

本日の意見交換会のテーマにつきましても、納期の平準化やワークライフバランスの改善策の推進・強化、インフラ分野のDXなど、働き方改革や生産性の向上に関する内容も多く含まれている中、是非、有意義で実りの多い意見交換会となることを期待し、冒頭のご挨拶に代えさせていただきます。

○大平副支部長

日頃協会活動に対し、ご理解、ご支援、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。新潟市では、「にいがた2km」と名付け都心地区の活性化に向けた各種施策を展開されているところです。コロナによって東京一極集中是正に対する機運が高まっ



ている中、地方創生の好機であり、まさに時宜を得た取組みであります。私ども地元コンサルタントとしても、プロジェクトの推進などにしっかり貢献したいと思っております。特に近年は、DXやカーボンニュートラルの推進、そしてコロナによって暮らし方あるいは働き方が大きく変わってきております。これらを見据えた持続可能なまちづくりをどのように進めるかということが重要なポイントとなっており、地域に暮らし、地域のことをよく理解し、地域に愛着を持った技術者集団である私共が、まちづくりやインフラ整備に対し、積極的に提案して関わる必要があります。



さて、私から2点お願いがあります。まず1点目は、納期の平準化です。長時間労働の解消だけでなく、コンサルタントの生産性にとっても有効な取組みです。長時間労働は、全体的に改善されつつありますが、必ずしも十分と言えない状況です。ワークライフバランスの推進のためにも、さらなる推進をお願いします。

2点目は、設計ストックの確保です。「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に引き続き、昨年末に「5か年加速化対策」が閣議決定されました。事業規模で言うと概ね15兆円とされています。この事業を迅速に、かつ円滑に進めるためには、まずは設計ストックを確保することが重要であると考えます。

今回の意見交換会では、このほかにもいくつかの議題を用意しております。いずれにしてもお互いの状況をよく理解し、よりよい社会資本整備に向けて知恵を出し合い、そして行動に移していく、このことが非常に重要であると考えております。実りある意見交換となりますことをお願い申し上げます、私の挨拶といたします。

◆意見交換

I. 担い手確保・育成のための環境整備の要望

(1) 働き方改革と生産性向上に向けた受発注者協働による取組み推進

- 納期の平準化と標準履行期間の確保への取組み強化
- 受発注者協働によるワークライフバランスの改善に向けての施策の推進
；追加3項目を含むウィークリースタンス、ワンデーレスポンスの徹底
- 建設DXの推進；契約・入札参加申請事務の省力化、電子契約、Web会議、Web検査等、BIM/CIM活用の今後の取組み方針・見込み

【主な回答】

●納期の平準化と標準履行期間の確保への取組み強化

- ・ここ数年間で第4四半期に集中していた納期件数の割合は減少傾向になっている。
- ・年度末納期については、協会目標に近づいてきている。
- ・業務内容をしっかり考慮して、債務負担行為や繰越制度を活用しながら、円滑な業務執行による品質の確保につながるよう努めてまいりたい

●受発注者協働によるワークライフバランスの改善に向けての施策の推進

- ・ウィークリースタンスやワンデーレスポンスについては、受発注者協働による労働環境の改善に向け、適切に対応するよう関係部署に通知を行う。
- ・追加項目については、内容を検討し、早期に実施できるよう努めたい。

●建設 DX の推進

- ・具体的な取組み内容については定まっていないが、国や新潟県の動向を注視、情報収集を行い、新潟市に適した建設 DX の取組みに努めてまいりたい。
- ・電子契約については、今年度から全庁的な取組みとして、総務部 ICT 政策課が主体となって、導入する方向で検討を行っているところである。
- ・本市に適した弾力的で適切な Web 会議となるよう、要領などの整備を年度内に行えるよう整えてまいりたい。
- ・標準様式の採用や手続き一元化については、今のところ早期の対応は難しいと考えるが、今後、提出書類や入力項目の簡素化などの見直しを進めたい。
- ・BIM/CIM、3次元情報管理等の推進・普及等については、国や新潟県の動向を注視し、情報収集を行い検討したい。取組み方針が定まり次第、方向性について明示したい。

(2) 企業経営の安定と処遇改善に向けての環境整備

●インフラ整備の中長期事業計画の策定・公表と安定的な事業量の確保

- ；国土強靱化5か年加速化対策も含めた中長期的事業計画策定などの見える化と関連予算の適正確保、一定程度の設計ストック確保

●新たな需要に向けての投資を可能とする企業収益の向上

●「土木設計業務等変更ガイドライン」に沿った適切な設計変更

【主な回答】

●中長期的な事業計画の策定

- ・速やかに関係部署と内容を精査しながら、本市に適した運用が図られるように取り組んでまいりたい。

●安定的な事業量の確保

- ・国に対し財政措置の拡充や事業進捗に必要な予算確保に向けた要望を継続的に行うとともに、補正等についても積極的に手を上げていきたい
- ・今後も老朽化対策、浸水対策、地震対策に対し、国の交付金制度を最大限活用しながら積極的に整備を進めていきたい。

●設計ストックの確保・担い手の確保

- ・必要な予算の確保をしつつ、設計ストックの確保を含めた計画的・持続的な事業執行に努めていきたい。
- ・5か年加速化計画の中で盛り込んでいけるものは盛り込む。
- ・国の交付金を最大限活用することで、計画的、持続的な事業執行に努めたい。

●落札率、最低制限価格について

- ・落札率は政令市の中で中位の状況。今のやり方については、他の政令市や本市の落札率の推移を注視し、必要があれば見直していく。

●適切な設計変更

- ・毎年、関係職員に対して、研修を通じて新潟市「土木設計業務等変更ガイドライン」の周知を図っている。引き続きガイドラインに基づき適切に契約変更を行うよう周知徹底を図る。

Ⅱ. 品質の確保・向上について

- 成績評定の活用；成績評定平均点の公表、業務委託における表彰制度の導入
- 三者会議の積極的活用；適正な費用計上、追加業務等の適切な工期確保
- 指定仮設、任意仮設の明確化；設計変更、適用範囲外業務は見積対応

【主な回答】

●成績評定の活用

- ・成績評定平均点については、市ホームページに11月8日付で公表した。
- ・表彰制度導入の予定はないが、他市の状況などを参考に、今後検討したい。

●三者会議の積極的な活用

- ・工事の円滑化や品質の高い工事目的物の完成に有効であると考えている。令和元年度から令和3年9月末までで11件実施している。
- ・費用については、これまで通り新潟市土木工事「三者会議（工事施工調整会議）」実施要領に基づき適切に計上したい。

●指定仮設、任意仮設の明確化

- ・条件変更や新たに構造計算が生じた場合は、必要に応じて設計変更を行う。引き続き監督員の資質向上に努める。
- ・設計、仕様が適用範囲外の場合は、設計基準に従い見積りを徴収し適切な設計変更を行っているが、あらためて周知したい。

